

2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

1. 動向

2024年4-6月の延べ宿泊者数（全体）は「1,851,560人」、前年同期比で「▲7.1%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,498,480人」、前年同期比で「▲14.7%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「353,080人」、前年同期比で「+50.1%」でした。

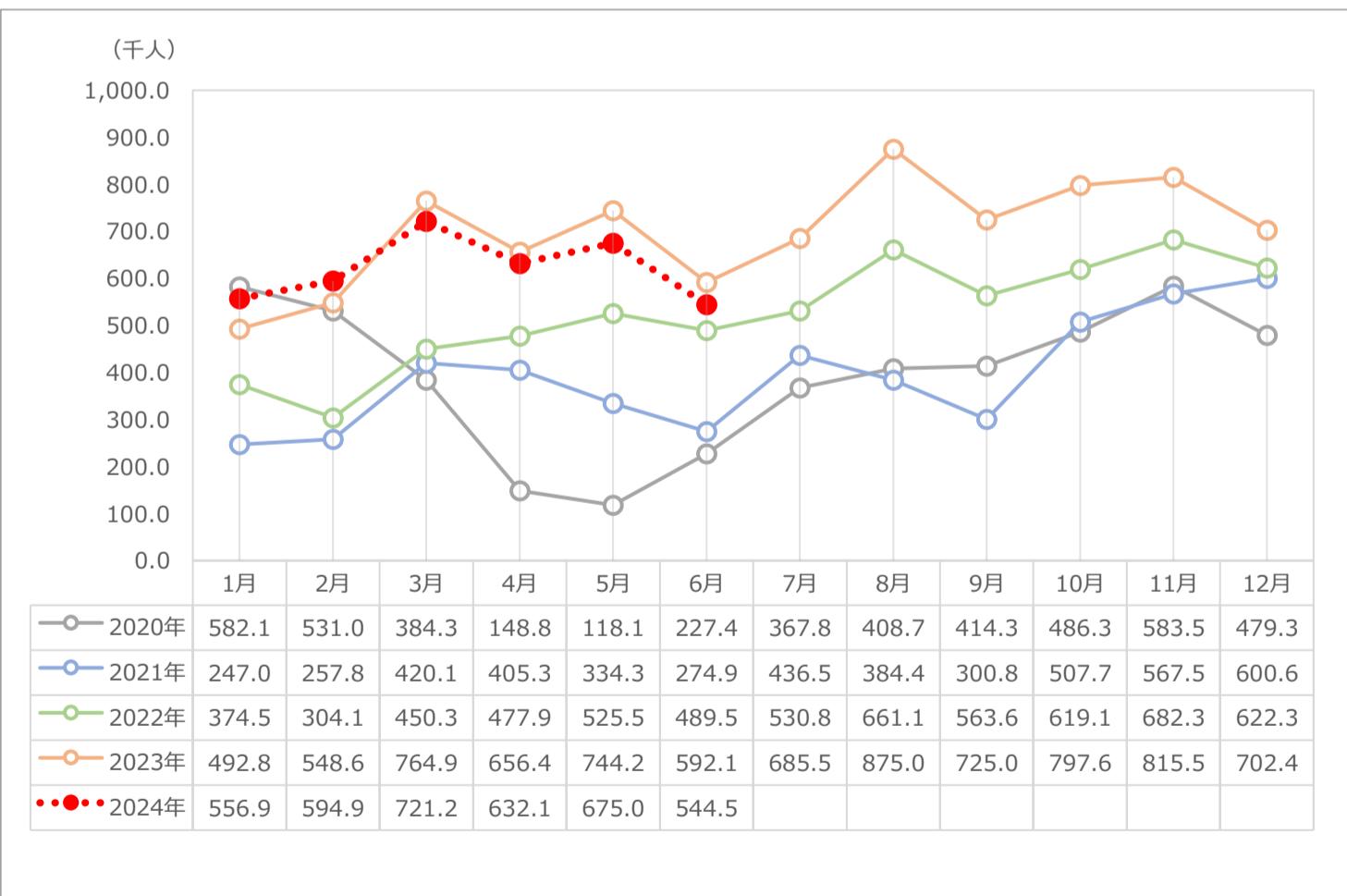
2. 延べ宿泊者数

総数 :	1,851,560	人	(前年比 : ▲ 7.1 %)
4月 :	632,130	人	(前年比 : ▲ 3.7 %)
5月 :	674,960	人	(前年比 : ▲ 9.3 %)
6月 :	544,470	人	(前年比 : ▲ 8.0 %)

※前年比 … 2023年2Qとの比較

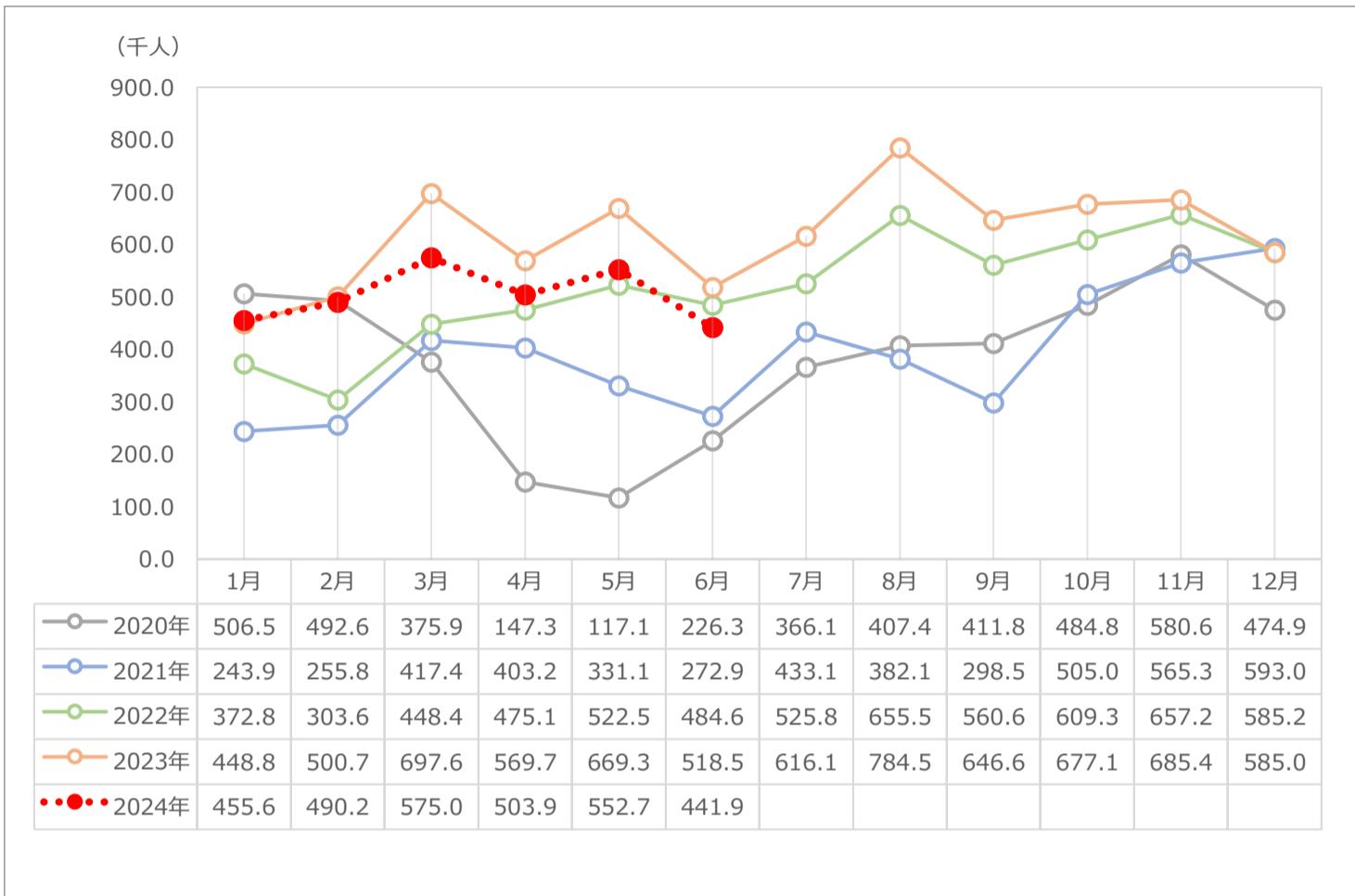
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

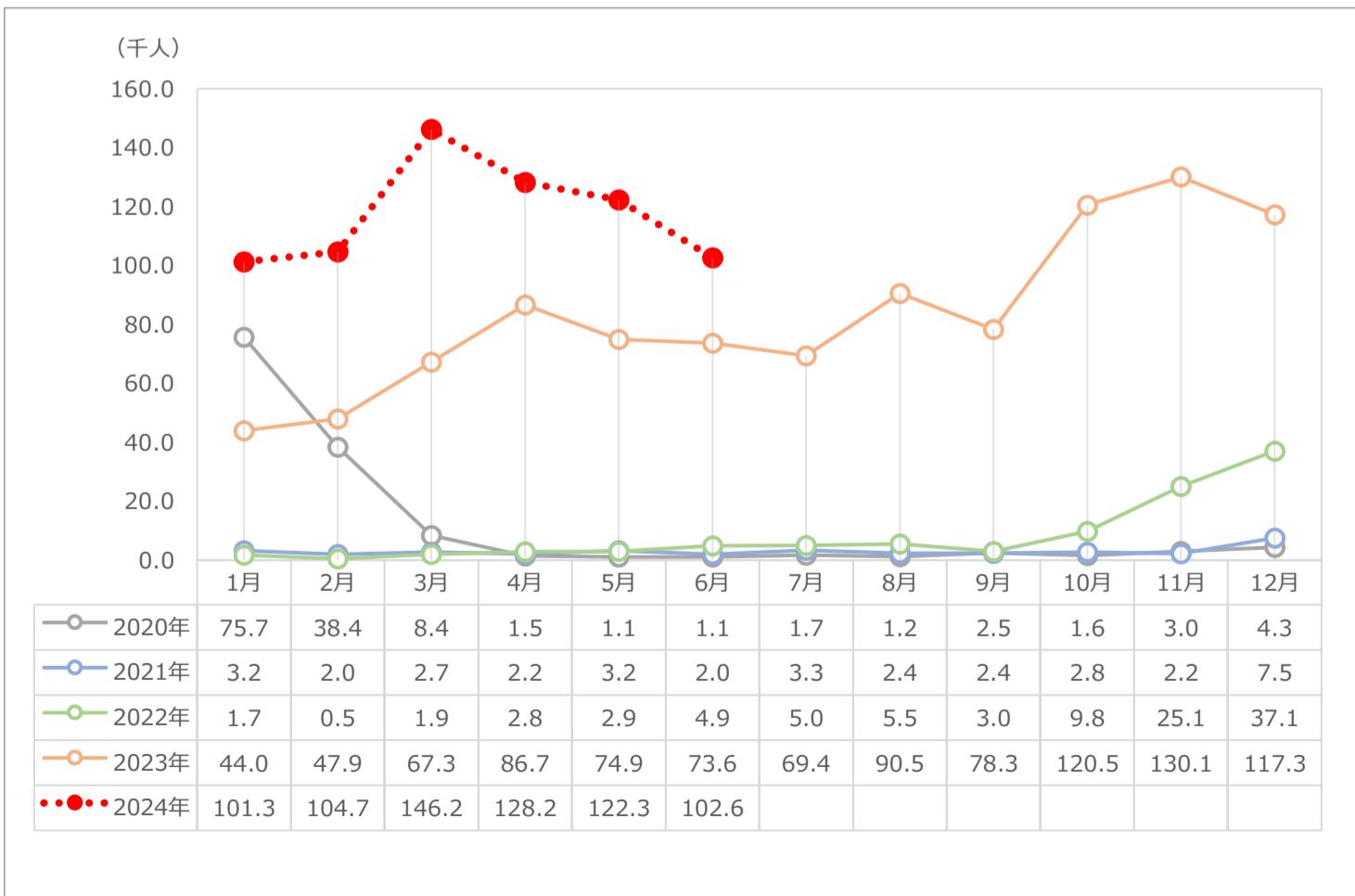


2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

② 日本人延べ宿泊者数

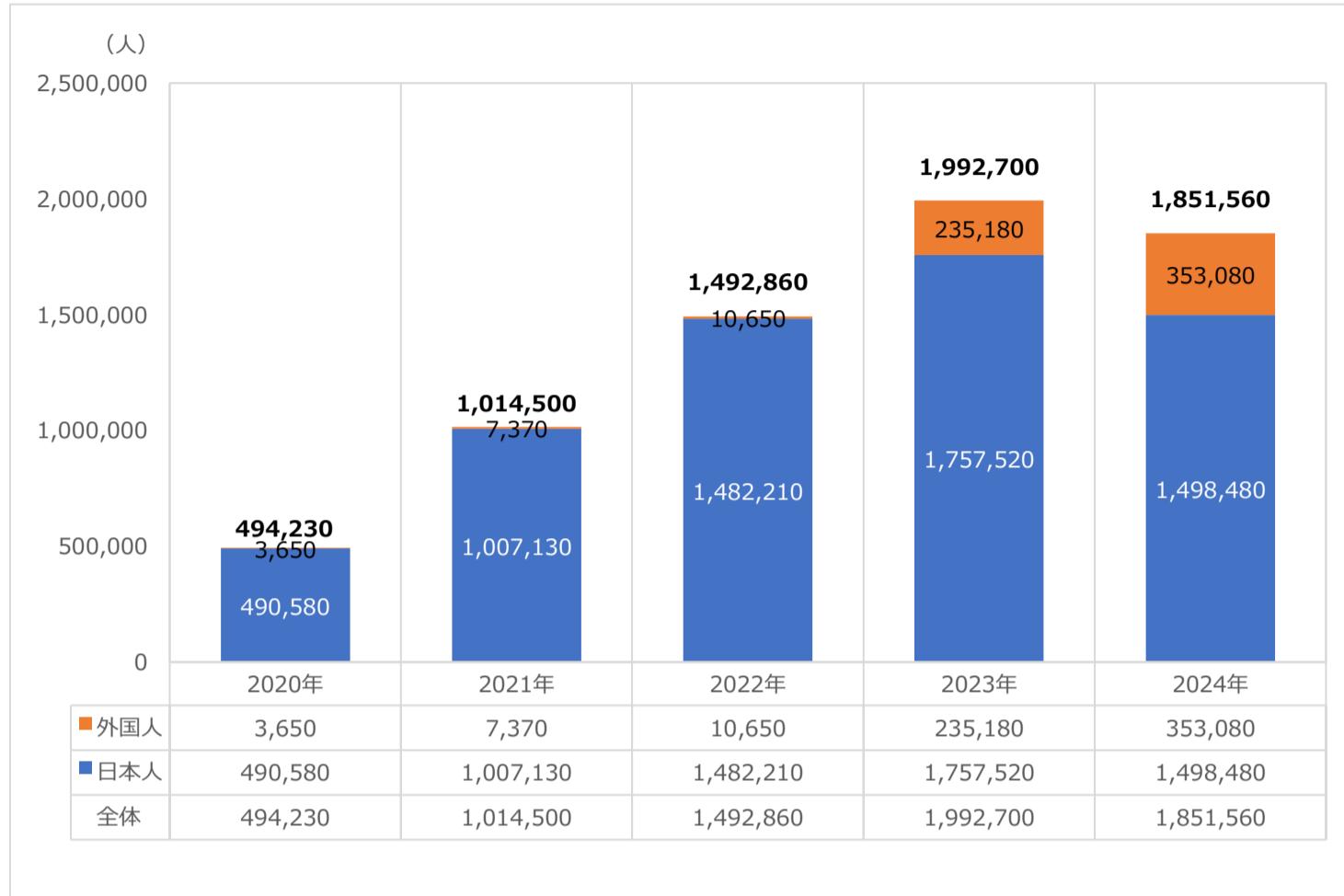


③ 外国人延べ宿泊者数

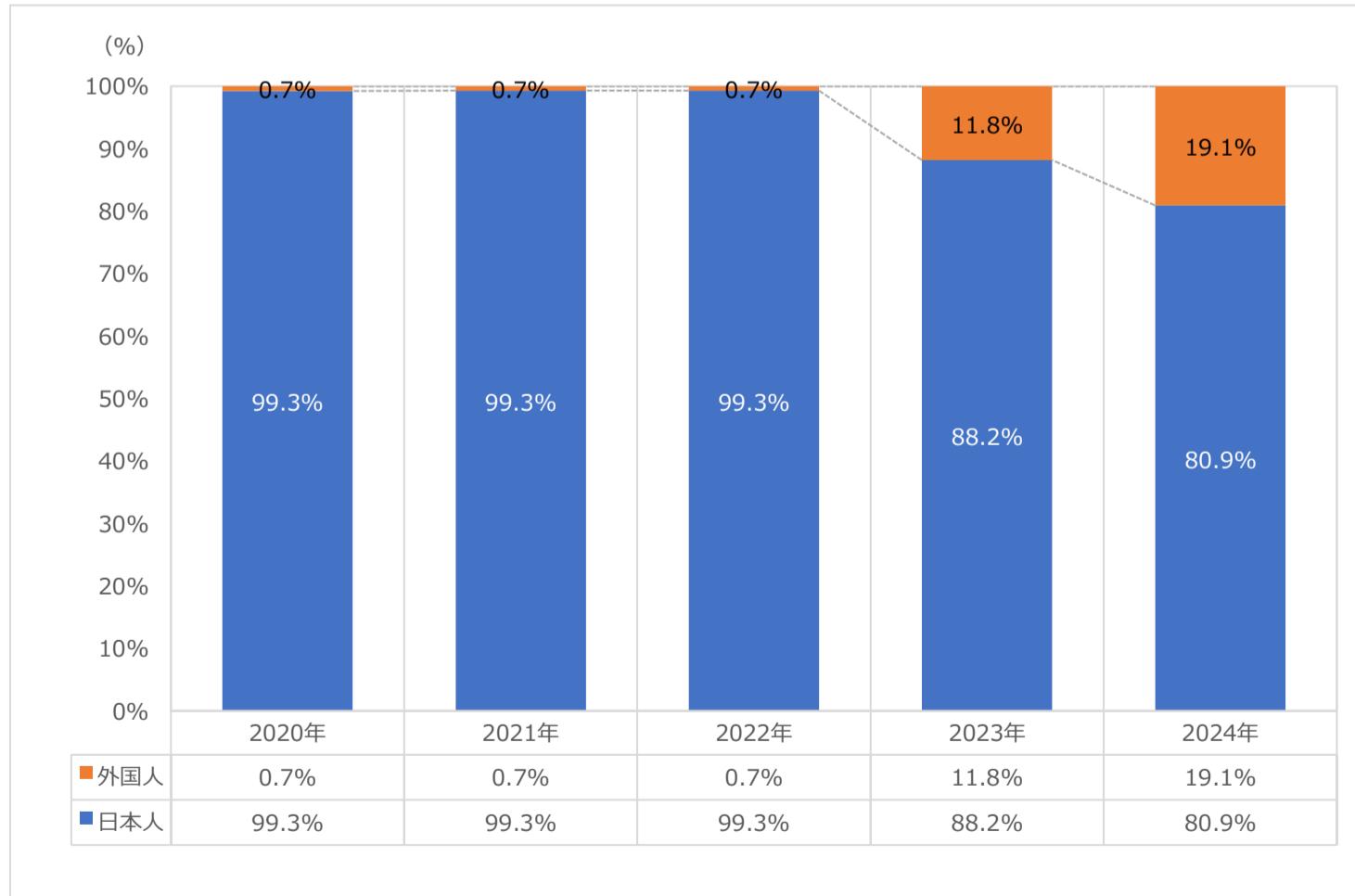


2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



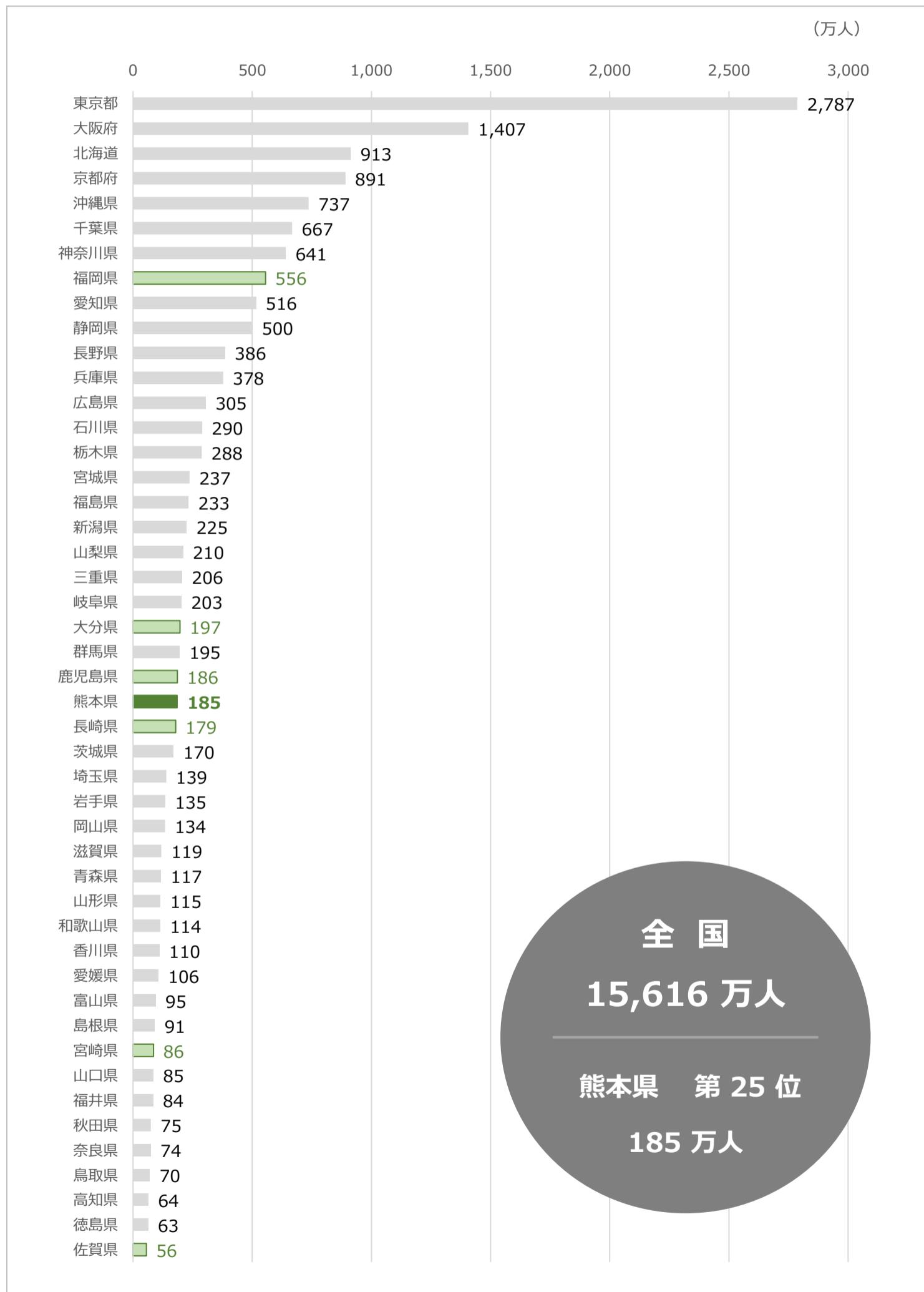
5. 日本人・外国人別割合



2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

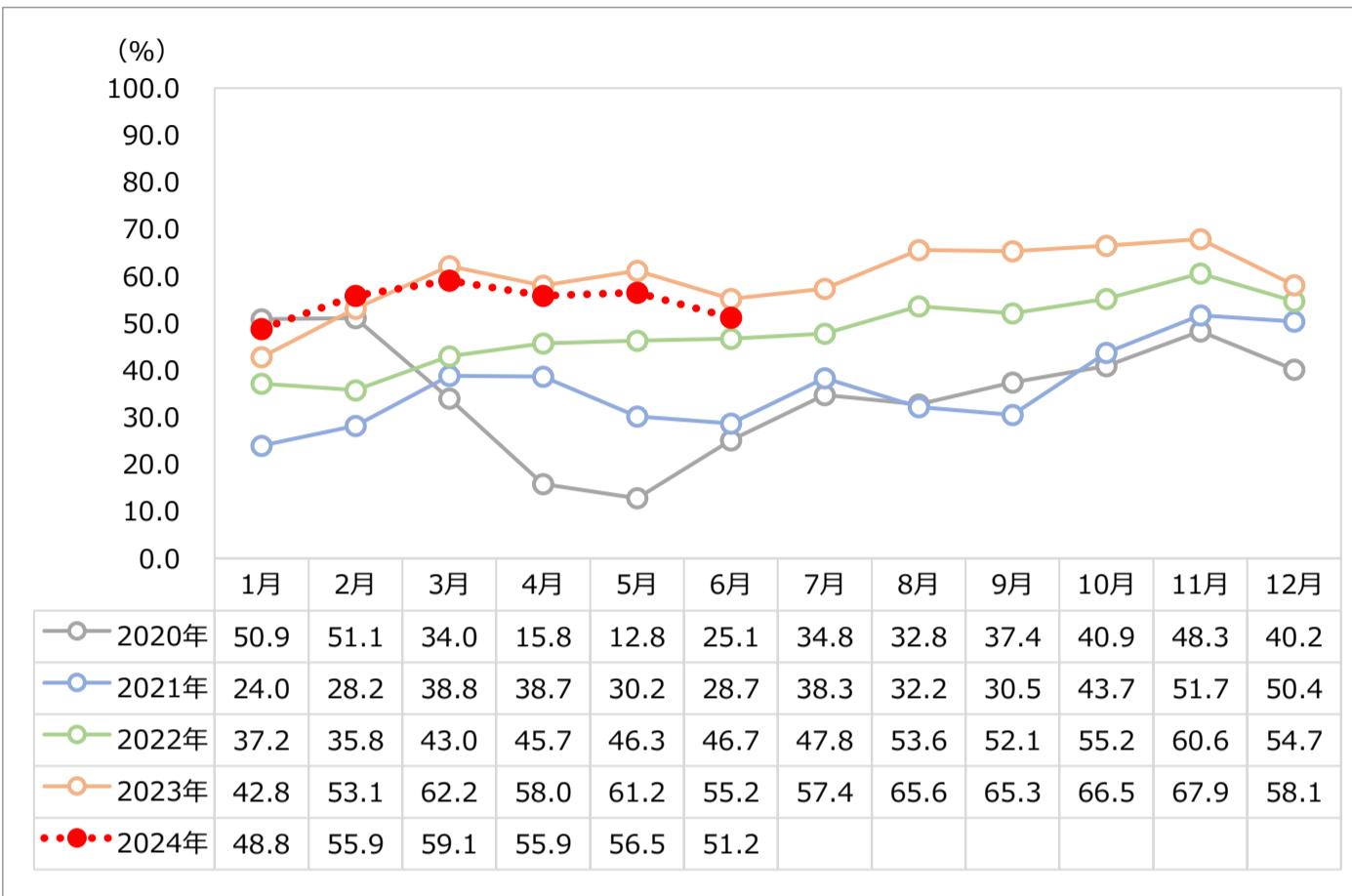
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

7. 客室稼働率

① 推移



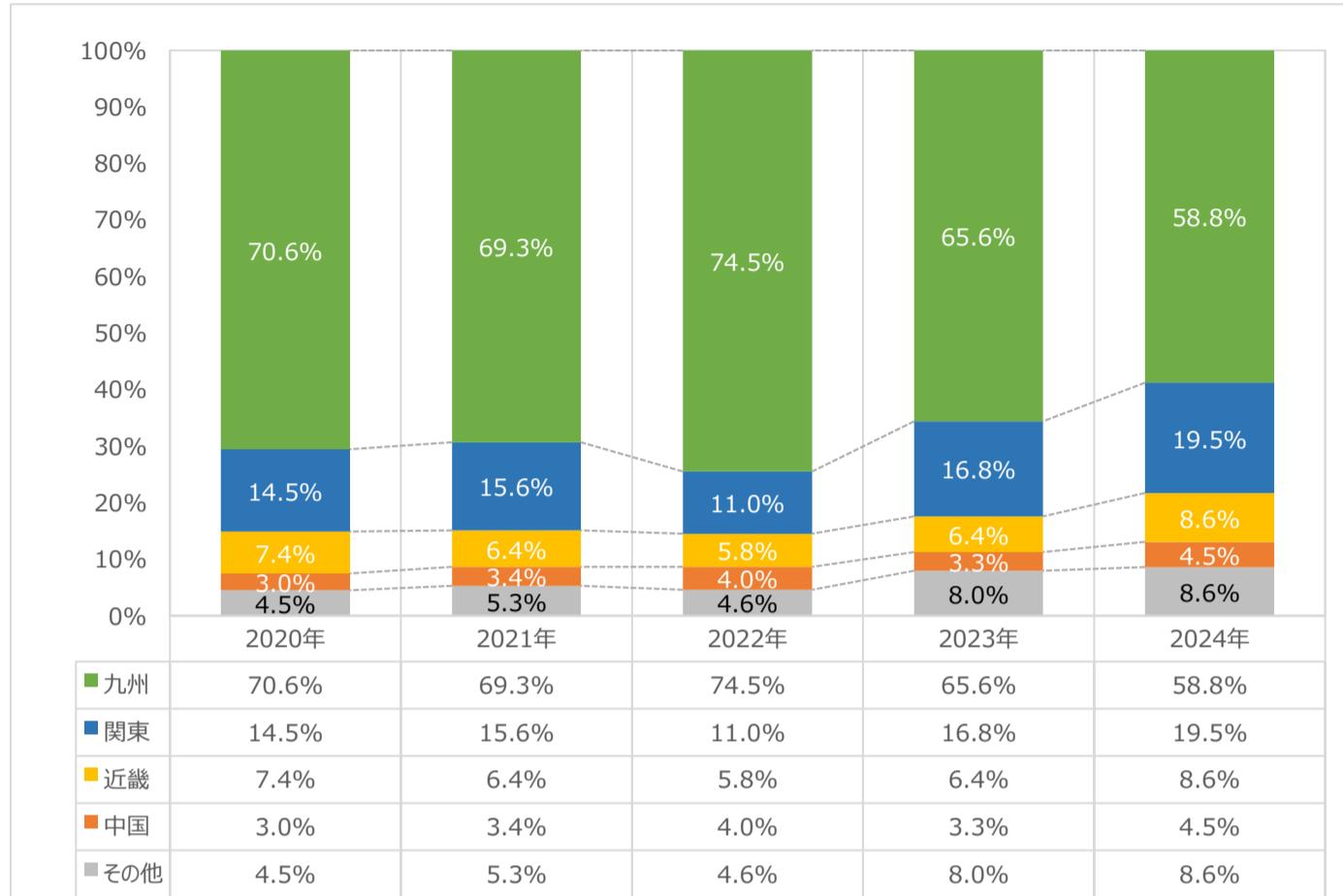
② 施設別稼働率

施設	2023年			2024年		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
全体	58.0%	61.2%	55.2%	55.9%	56.5%	51.2%
旅館	41.8%	46.9%	36.8%	45.6%	41.0%	35.2%
リゾートホテル	43.8%	54.2%	45.8%	54.6%	57.4%	43.7%
ビジネスホテル	76.3%	78.0%	75.4%	65.3%	68.6%	64.3%
シティホテル	63.7%	73.9%	68.6%	73.6%	72.9%	68.9%
簡易宿所	31.2%	21.6%	14.0%	31.7%	27.4%	20.5%
会社・団体の宿泊所	28.6%	36.0%	25.2%	19.0%	22.8%	21.4%

2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合

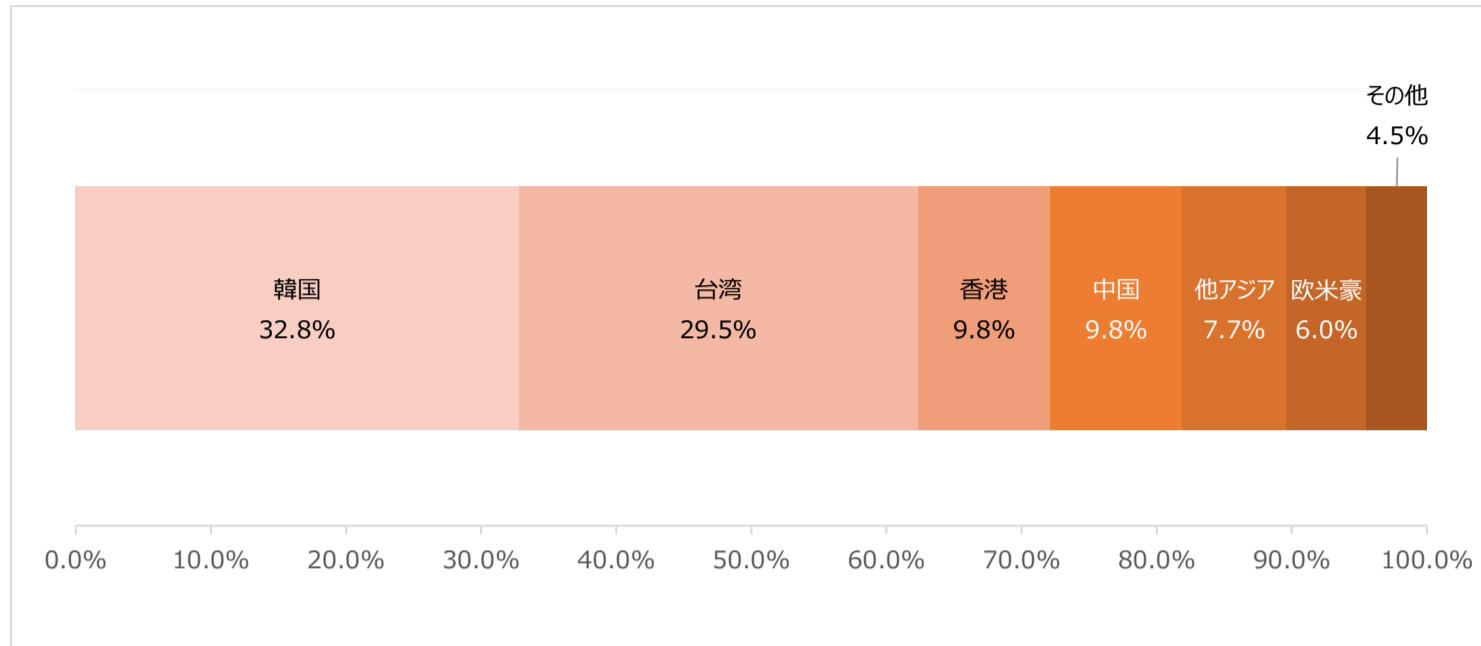


② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランク	都道府県	2023年		2024年	
		宿泊客数	順位	宿泊客数	順位
1	熊本県	20,430人	1	福岡県	19,138人
2	福岡県	19,011人	2	熊本県	18,489人
3	東京都	7,105人	3	東京都	9,891人
4	鹿児島県	4,000人	4	鹿児島県	4,980人
5	神奈川県	2,815人	5	大阪府	3,645人
6	宮崎県	2,650人	6	神奈川県	3,541人
7	大分県	2,555人	7	宮崎県	3,069人
8	大阪府	2,527人	8	大分県	2,964人
9	長崎県	2,319人	9	長崎県	2,606人
10	佐賀県	2,021人	10	愛知県	2,451人

2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）



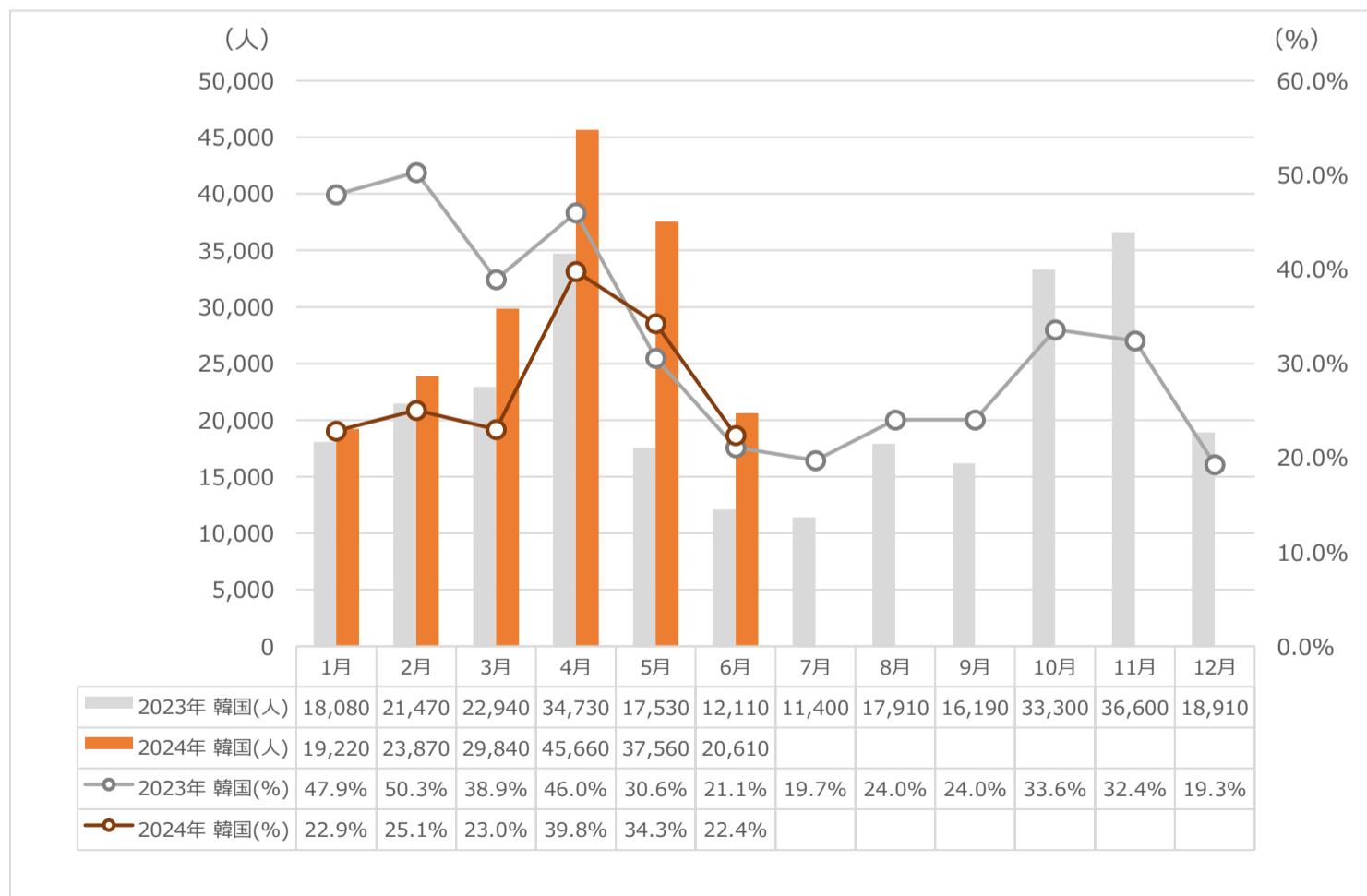
2024年2Qの国籍（出身地）割合は、韓国が「32.8%」で最も多く、次いで台湾が「29.5%」、香港が「9.8%」と続きました。

欧米豪 : アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
他アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
その他 : 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジアに該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

① 韓国

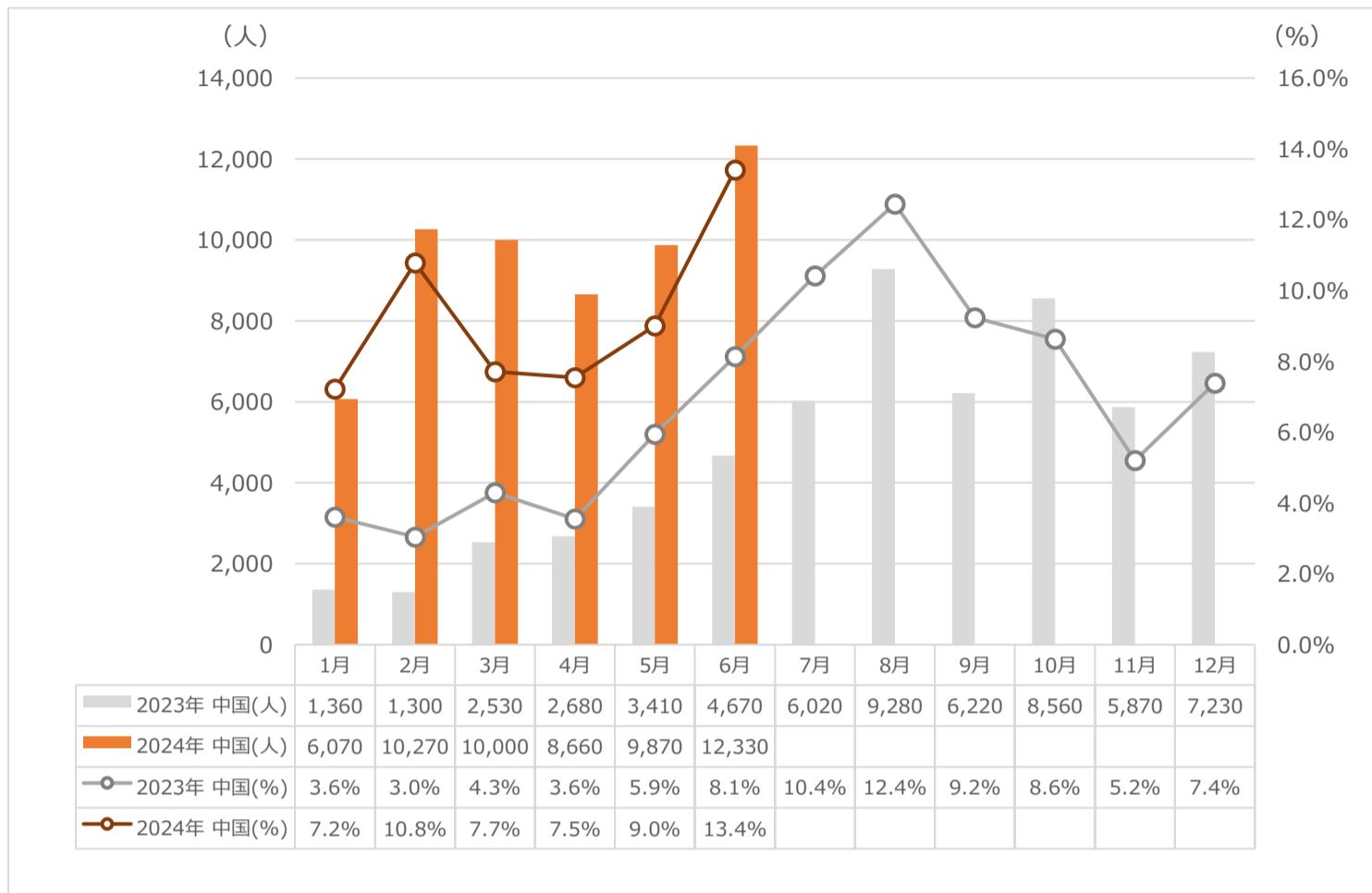
※人=延べ宿泊者数、% = 国籍割合



2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

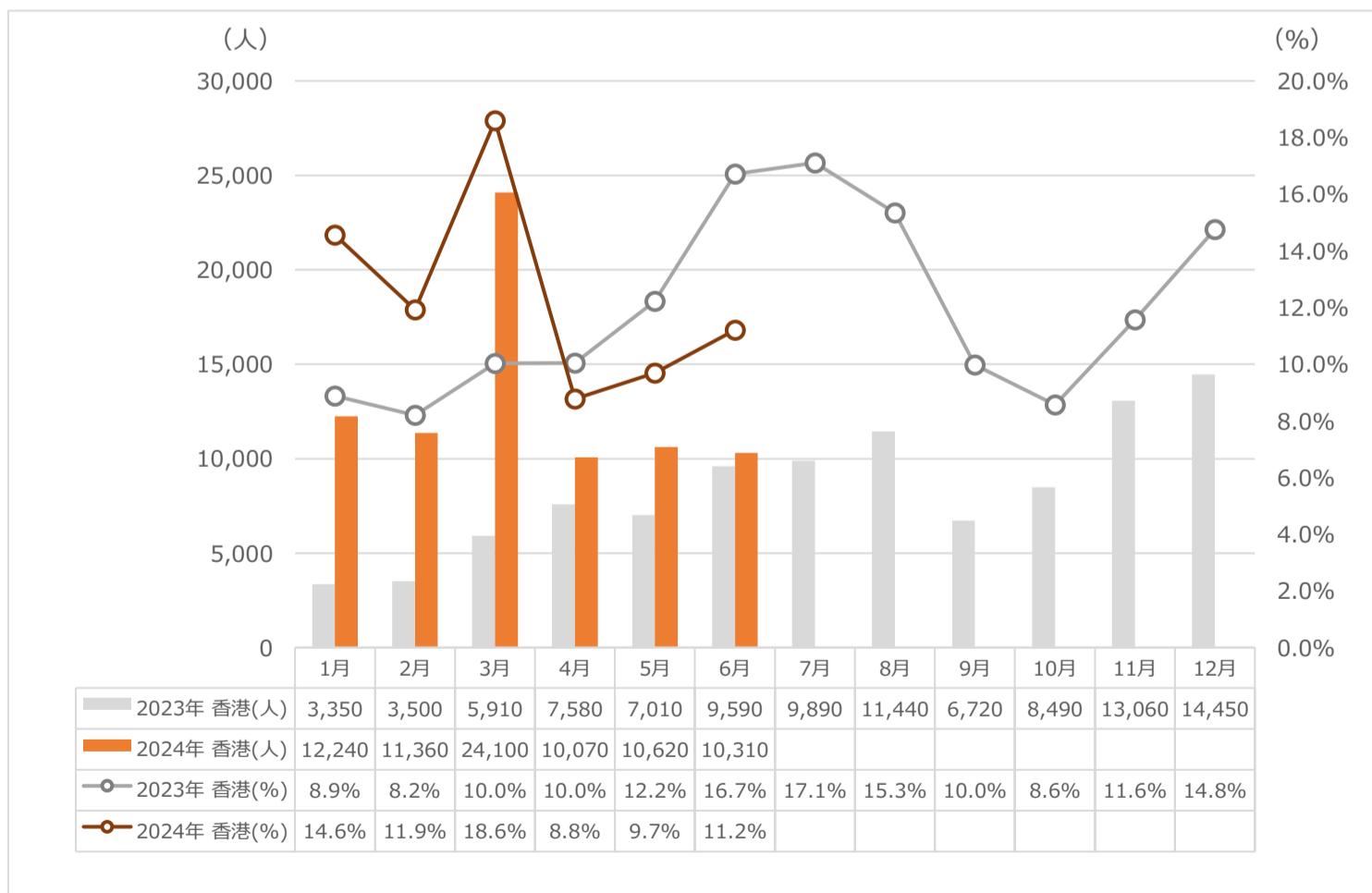
② 中国

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



③ 香港

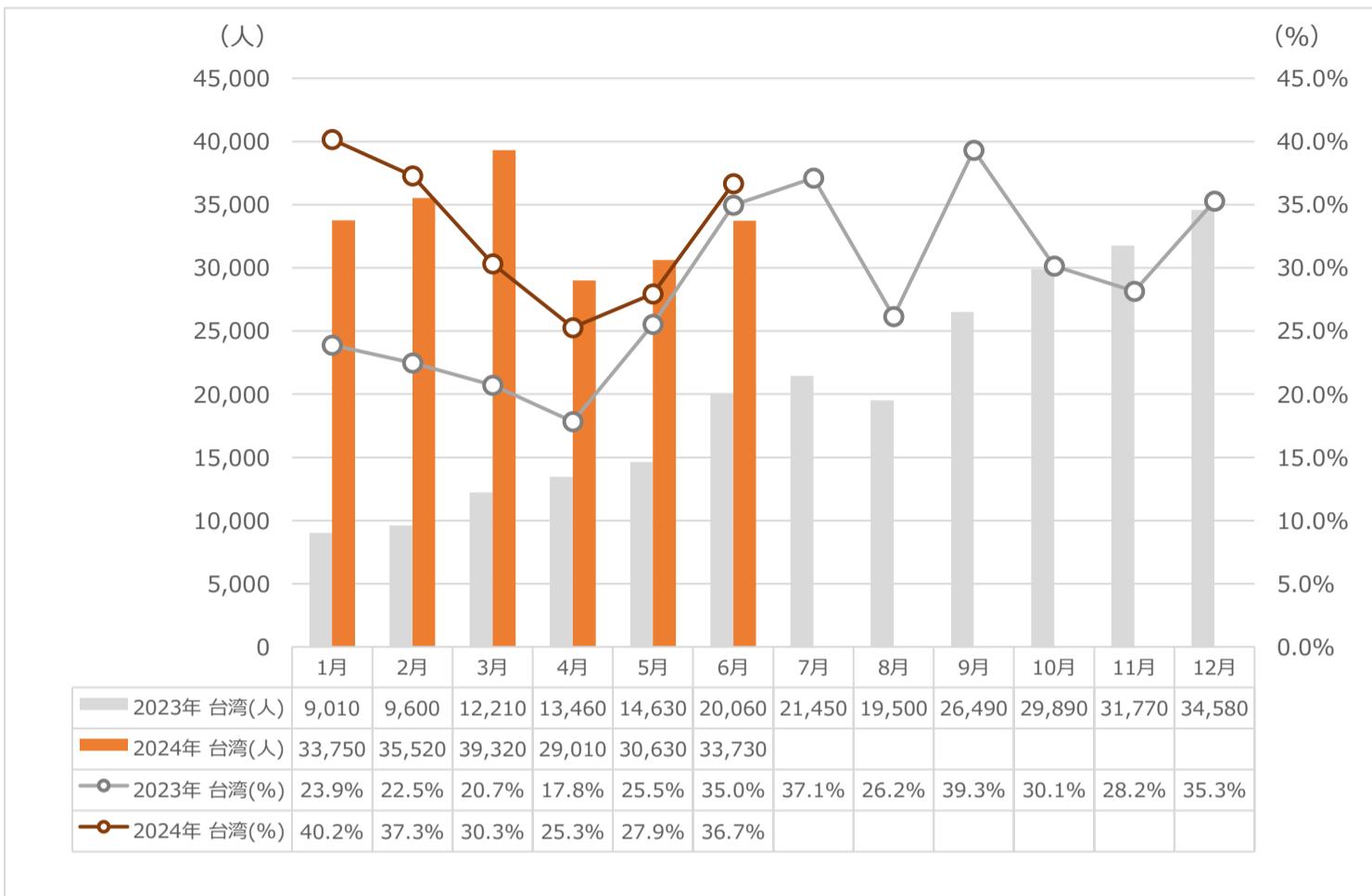
※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

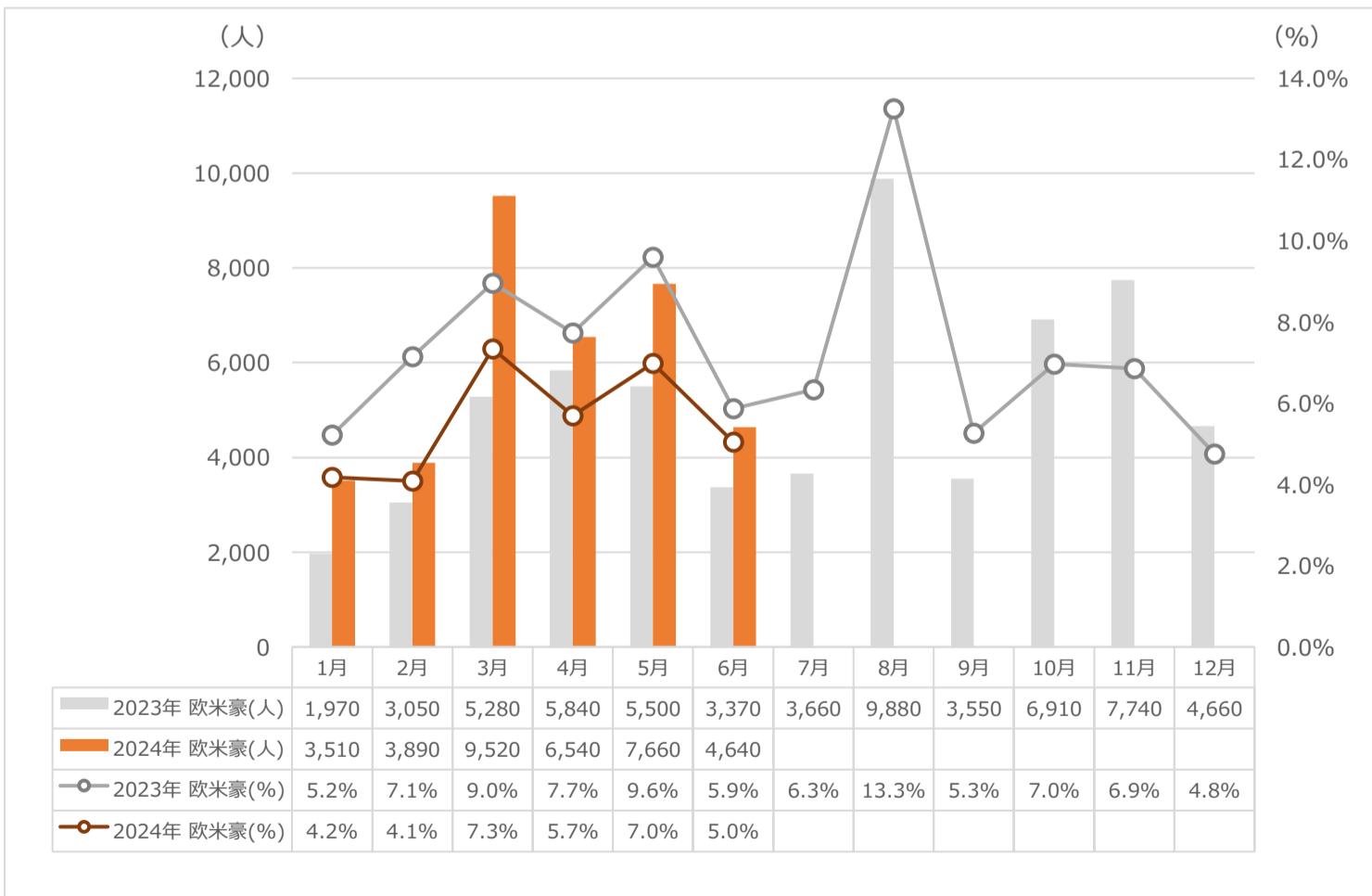
④ 台湾

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

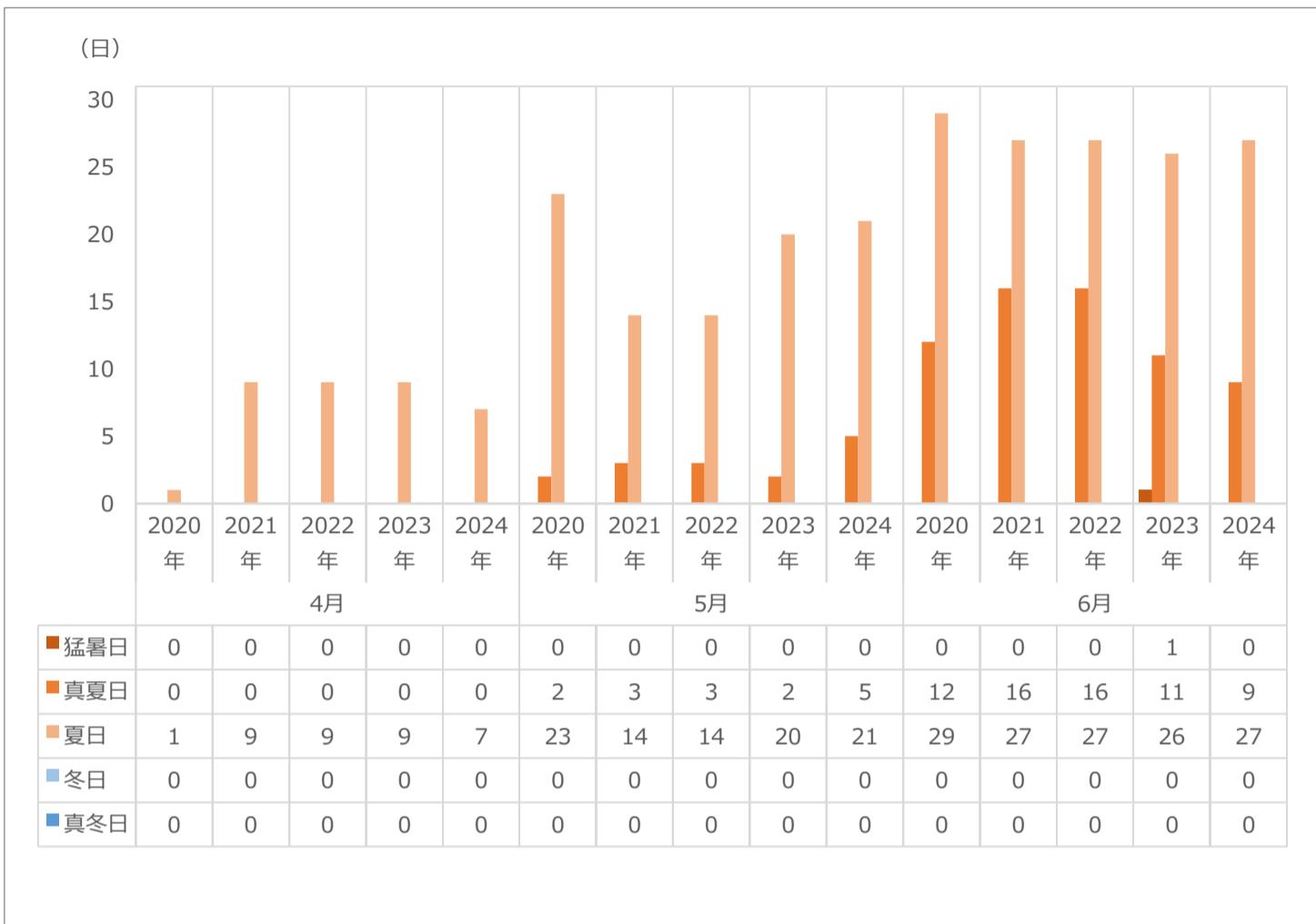
※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



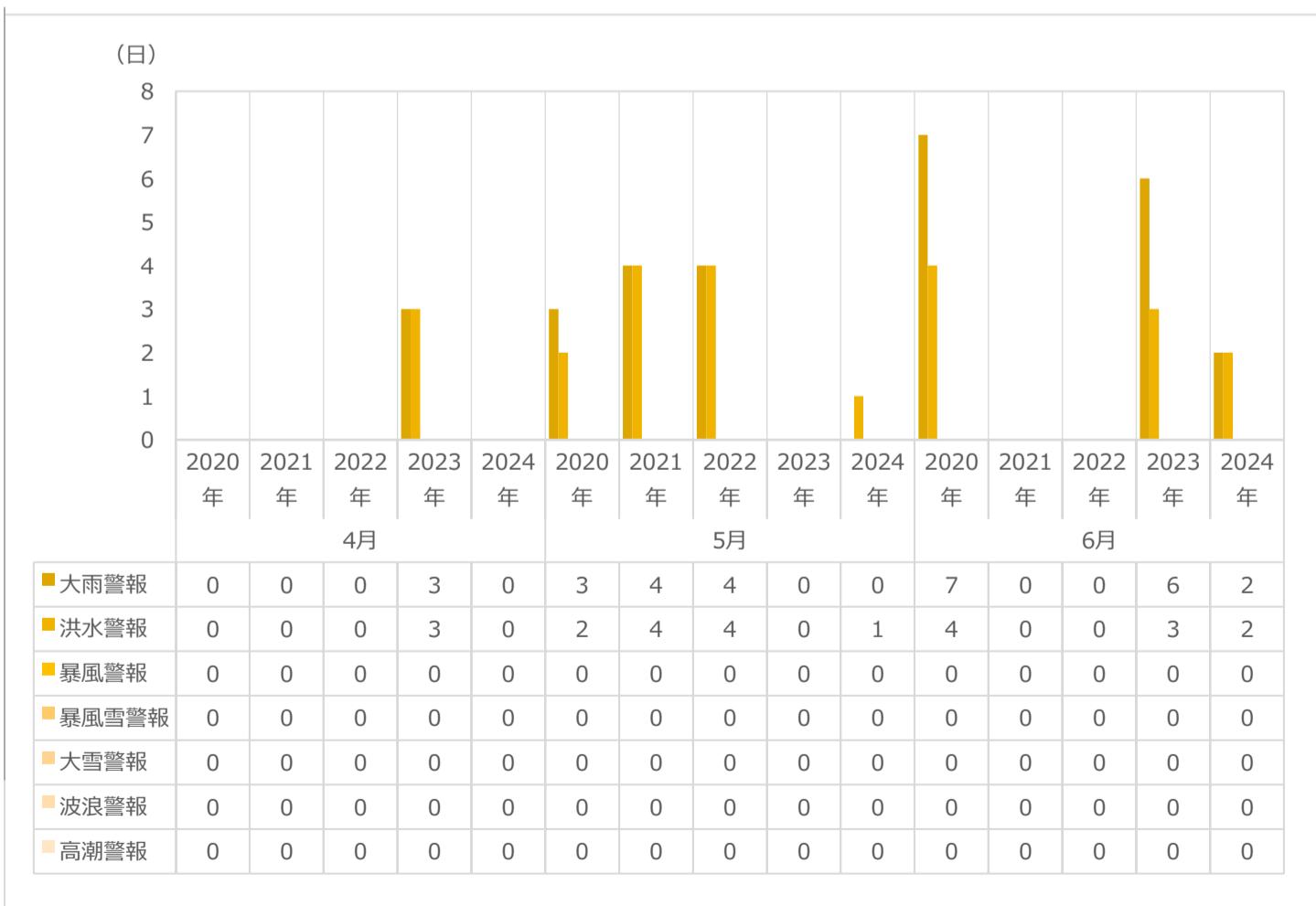
2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2024年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [特記事項がない場合は空欄]

▽ 地域のトピックス ▽

- ・2023年の「くまモン」商品売上げ（1,663億8922万円）が前年から約74億円増加、過去最高を記録（4/5）
- ・人吉市で球磨川下り「清流コース」が令和2年7月豪雨以来3年9ヶ月ぶりに再開（4/6）
- ・インバウンド増加に伴いサクラマチクマモトに免税カウンターが復活（4/15）
- ・八代・人吉・水俣の3商工会議所が県南の経済活性化・雇用確保に向け「熊本県南経済連携協議会」を設立（6/17）
- ・鉄路復旧の方向性が定まった八代－人吉間に関する最終合意に向け熊本県がロードマップを示す（6/18）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

今期（2024年4-6月）の延べ宿泊者数は前年同期を下回り、特に5月において同▲9.3%と減少幅が大きかった。ビッグデータから日毎の宿泊動向をみると、JASM第一工場をはじめとした建設工事需要の一服などから、平日の稼働状況が前年と比べて伸び悩んだほか、ゴールデンウィークも前半3連休（4/27～29）、後半4連休（5/3～6）に平日3日をはさみ、また土休日の日数が1日少なかったこと也有り、前年を下回る傾向がみられた。延べ宿泊者数を地域別にみると、人吉・球磨地域で最も増加率が高く、同+4.3%であった。同地域では「球磨川下り清流コース」が令和2年7月豪雨以来3年9ヶ月ぶりに再開している。

外国人延べ宿泊者数は前年同期を上回って推移している。国籍別にみると、中国が4-6月いずれも前年同月を上回っており、外国人延べ宿泊者数の伸びをけん引している。中国の大手旅行予約サイト「Ctrip」の調査によれば、2024年5月の労働節休暇（5/1～5）の海外旅行先として日本が1位となっており、コロナ禍以降、戻りが鈍かった中国からのインバウンド需要の回復がみられる。

熊本県宿泊旅行統計調査について

1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2020～2023年は確定値、2024年は第2次速報値を採用
 - (2) 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - (3) 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
 - (4) 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指標、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトパック集計」により県独自で算出しています。
3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - (1) 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - (2) 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

* 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。